

社会保障研究所日誌（平成 6.4～7.3）

平成 6.4.12 社会保障費調査研究委員会（第 1 回）

「平成 6 年度研究の進め方——研究項目の分担と報告日程の設定について——」

4.19 研究課題Ⅰ 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析（第 1 回）

報告内容と報告者「原価主義に基づく診療報酬に関する一考察」国立医療・病院管理研究所研究員 川淵孝一

同 定例役員会（第 301 回）

4.21 研究課題Ⅲ 企業内福祉と社会保障（第 1 回）

「プロジェクトの趣旨と進め方について」

5.10 研究課題Ⅰ 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析（第 2 回）

報告内容と報告者「看護婦等の就業構造及び賃金構造に関する実証分析」日本看護協会調査研究室職員 奥村元子

5.17 研究課題Ⅲ 企業内福祉と社会保障（第 2 回）

報告内容と報告者「1. 企業内福祉の現状と問題点
2. 今後の研究会の進め方について」亜細亜大学教授 藤田至孝

同 社会保障費調査研究委員会（第 2 回）

報告内容と報告者「社会保障に係る給付と負担の将来見通し（試算）について」厚生省大臣官房政策課課長補佐 弓場美裕、「OECD 社会支出統計の概要と検討課題について」社会保障研究所研究員 勝又幸子

同 定例役員会（第 302 回）

5.19 第 7 回国際交流研究会

報告内容と報告者「福祉国家をめぐる問題」ハノーファー哲学研究所長 ペーター・コスロフスキー博士

5.24 研究課題Ⅱ 社会福祉における市民参加（第 1 回）

報告内容と報告者「1. 今後の研究会の進め方について 2. 中社審ボランティアの中長期的振興方

策について（意見具申）の考え方」社会保障研究所主任研究員 枡本一三郎

5.26 第 8 回国際交流研究会

報告内容と報告者「最近の欧州における社会保障研究の現状と課題——意見交換を中心に——」ルーヴァン大学教授・欧州社会保障研究所代表幹事 ランゲンドク博士

5.31 政策研究会（第 1 回）

報告内容と報告者「平成 5 年版厚生白書について」厚生省大臣官房政策課調査室長 小林和弘

同 国際交流研究交流会（1）

中国復旦大学日本研究中心副所長 陳建安教授他 3 名来所

6.9 研究課題Ⅰ 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析（第 3 回）

報告内容と報告者「医療サービスの変容と医療費増加」厚生省健康政策局指導課医療関連サービス室長 遠藤 明、「医療費の増加要因」社会保険診療報酬支払基金審議役 鎌形健三

6.16 定例役員会（第 303 回）

6.21 政策研究会（第 2 回）

報告内容と報告者「平成 6 年度厚生省予算について」厚生省大臣官房会計課課長補佐 高井康行

6.30 第 6 回社会保障研究国際交流セミナー

報告内容と報告者「アメリカの医療改革と公的保険の役割」ニューヨーク市立マウントサイナイ医科大学医学科準教授 マリアンヌ・ファーズ博士

7.7 研究課題Ⅲ 企業内福祉と社会保障（第 3 回）

報告内容と報告者「カフェテリアプラン研究会報告書について」厚生省大臣官房政策課課長補佐 武井伸次

7.8 研究課題Ⅱ 社会福祉における市民参加（第 2 回）

報告内容と報告者「海外の住民参加型住宅サービスの紹介——イギリスを中心に」明治学院大学助教授 平岡公一

7.12 定例合同役員会（第 304 回）

7.14 政策研究会（第 3 回）

報告内容と報告者「健康保険法の改正について」厚生省大臣官房政策課企画官（保険局併任） 江口隆裕

7.19 研究課題Ⅲ 企業内福祉と社会保障（第 4 回）

- 報告内容と報告者「企業内福祉と労働組合」日本労働組合総連合会生活福祉局部長 佐川英美
- 同 社会保障費調査研究委員会(第3回)
- 報告内容と報告者「地方財政から見た社会保障財源」東京大学教授 神野直彦
- 同 研究課題II 社会福祉における市民参加(第3回)
- 報告内容と報告者「地域ケアにおける市民参加の現状——老人保健福祉計画と地域ケア——」公立みつき総合病院院長 山口 昇
- 7.20 研究課題I 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析(第4回)
- 報告内容と報告者「医療数と医療費」京都大学教授 西村周三
- 9.6 研究課題I 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析(第5回)
- 「これまでの研究会の概要と最終報告の構成について」
- 9.12 研究課題II 社会福祉における市民参加(第4回)
- 報告内容と報告者「ボランティアな行動原理」慶応義塾大学教授 金子郁容
- 9.13 社会保障費調査研究委員会(第4回)
- 報告内容と報告者「地方財政から見た社会保障費」自治省財政局調整室課長補佐 黒田武一郎
- 同 定例役員会(第305回)
- 9.20 研究課題III 企業内福祉と社会保障(第5回)
- 報告内容と報告者「企業内福祉についての労働省の取り組みについて」労働省労政局勤労者福祉部企画課課長補佐 内野淳子, 労働省婦人局婦人福祉課課長補佐 浅野浩美
- 9.27~30 第30回社会保障研究所基礎講座(こまばエミナース)
- 講座内容と講師名「高齢化産業社会の社会保障」社会保障研究所長 宮澤健一,「厚生行政の課題」厚生省大臣官房政策課長 江利川毅,「在宅ケアの現状と課題」(財)総合健康推進財団ケア・コーディネーション研究所長 新津ふみ子,「市町村老人保健福祉計画の現状と課題」厚生省老人保健福祉局老人福祉計画課長 吉富宣夫,「社会保障と家族政策」東京学芸大学助教授 山田昌弘,「参加型福祉社会の課題と方向」社会保障研究所主任研究員 栃本一三郎,「医療保障制度の課題」社会保障研究所調査部長 高木安雄,「年金改革の課題と方向」社会保障研究所研究部長 伏見恵文,「社会保障と保険学」慶応義塾大学名誉教授・社会保障研究所監事 庭田範秋,「イタリアの社会保障」社会保障研究所主任研究員 小島晴洋
- 10.4 研究課題I 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析(第6回)
- 報告内容と報告者「病院における業務委託の経済分析」上智大学助教授 漆 博雄, 医療科学研究所研究員 安川文朗
- 10.6 第9回国際交流研究会
- 報告内容と報告者「ポーランドにおける社会保障の現状と課題」ワルシャワ大学教授 L. フローレック博士, 通訳 大阪府立大学教授 本沢巳代子
- 10.11 定例役員会(第306回)
- 同 平成6年度機関誌編集委員会(健保会館)
- 10.18 研究課題III 企業内福祉と社会保障(第6回)
- 報告内容と報告者「企業内福祉と税制」筑波大学大学院教授 吉牟田勲
- 10.20 第33回公開研究報告会(健保会館)
- テーマ「現代家族と社会保障——出生・育児を中心に——」
- 報告内容と報告者「家族政策の歴史的展開——育児に対する政策対応の変遷——」社会保障研究所研究員 下夷美幸,「出生行動と社会政策——ヴィネット調査による行動分析」社会保障研究所研究員 織田輝哉,「低出生率と高齢化の下での日本経済と社会保障:シミュレーション分析」大阪経済大学助教授 藤川清史,「出生率の低下と公共政策」東京大学教授・社会保障研究所専門委員 宮島 洋
- 10.25 国際交流研究交流会(2)
- 中国人民政治協商会議全国委員会委員 何理良女士他2名来所
- 11.1 研究課題II 社会福祉における市民参加(第5回)
- 報告内容と報告者「参加論の論拠と課題について」茨城大学助教授 秋元美世
- 11.8 社会保障費調査研究委員会(第5回)
- 報告内容と報告者「地方自治体の社会保障給付について(サーベイ中間報告)」大阪大学教授 齋藤

- 慎, 近畿大学教授 中井英雄
同 定例役員会 (第 307 回)
- 11.15 研究課題Ⅲ 企業内福祉と社会保障 (第 7 回)
報告内容と報告者「トヨタ自動車健康保険組合の活動について」トヨタ自動車健康保険組合常務理事 鈴木久雄
- 11.22 研究課題Ⅱ 社会福祉における市民参加 (第 6 回)
報告内容と報告者「老人保健福祉計画の策定過程と福祉における市民参加——行政との協力関係」秋田県鷹巣町福祉保健課課長補佐 飯田 務
- 11.25 第 7 回社会保障トップセミナー (東京厚生年金会館)
(講演)「これからの社会保障に求められるもの」社会保険庁長官 横尾和子
(パネルディスカッション)「21 世紀福祉ビジョンと社会保障の将来像」司会: 中央大学教授 貝塚啓明, パネリスト: 「21 世紀福祉ビジョンと参加型福祉社会」日本社会事業大学教授 京極高宣, 「少子・高齢社会の地域福祉と地方分権」東京都副知事 金平輝子, 「21 世紀福祉ビジョンの実現のために」上智大学教授 山崎泰彦
- 11.29 社会保障費調査研究委員会 (第 6 回)
報告内容と報告者「SNA 改訂の動向——社会保障費関連統計を中心として——」経済企画庁経済研究所国民所得部国民支出課長 渡辺源次郎, 「社会保障費関連統計の整理」明治大学短期大学専任講師 塚原康博, 社会保障研究所研究員 織田輝哉
- 12.6 研究課題Ⅰ 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析 (第 7 回)
報告内容と報告者「医薬品産業の産業組織」千葉大学教授 武蔵武彦
- 12.7 研究課題Ⅰ 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析 (第 8 回)
報告内容と報告者「技術進歩の医療費増加寄与率の実証的研究——ハイテク医療技術を中心として——」日本社会福祉大学教授 二木 立
- 12.8 国際交流研究交流会 (3)
ドイツ BASYS シュネイダー博士来所
- 12.13 定例合同委員会 (第 308 回)
- 12.20 研究課題Ⅲ 企業内福祉と社会保障 (第 8 回)
「中間報告及び今後の研究の進め方について」
- 同 研究課題Ⅱ 社会福祉における市民参加 (第 7 回)
報告内容と報告者「政策過程の協働運営」東海大学教授 荒木昭次郎
- 平成 7.1.12 政策研究会 (第 4 回)
報告内容と報告者「平成 6 年年金改正について」厚生省年金局企画課課長補佐 矢崎 剛
- 1.17 研究課題Ⅲ 企業内福祉と社会保障 (第 9 回)
報告内容と報告者「企業内福祉と企業経営」日本経営者団体連盟労務管理室長 荒川 春
- 同 定例役員会 (第 309 回)
- 同 平成 6 年度合同 (専門・編集) 委員会 (健保会館)
- 1.19 国際交流研究交流会 (4)
中国北京社会科学院 吳家駿教授他 1 名来所
- 2.6 国際交流研究交流会 (5)
中国延辺日報記者 雀岩傑氏来所
- 2.9 社会保障研究所創立 30 周年記念シンポジウム (健保会館)
テーマ「21 世紀の社会保障の思考軸——サービス体系の変容と財源調達——」
(基調講演)「21 世紀の社会保障の思考軸——「体制」変動の中の制度デザイン」社会保障研究所長 宮澤健一
(シンポジウム) ①「税制と社会保険システム」レポート: 一橋大学教授 高山憲之, コメント: 奈良女子大学助教授 木村陽子 ②「社会保障における措置制度の再検討」レポート: 姫路独協大学教授 小室豊允, コメント: 法政大学教授 大山博 ③「介護システムの構築とその方法」レポート: 慶応義塾大学教授 清家 篤, コメント: お茶の水女子大学教授 篠塚英子 司会: 社会保障研究所研究部長 伏見恵文
- 2.14 定例役員会 (第 310 回)
- 2.16 研究課題Ⅰ 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析 (第 9 回)
報告内容と報告者「医師の行動と医療保険制度」横浜国立大学教授 倉沢資成, 「医療費の自然増の分析——検査と医薬品を中心にして——」慶応義塾大学教授 池上直己

2.21 研究課題Ⅲ 企業内福祉と社会保障（第10回）

報告内容と報告者「企業内福祉の最先端」（株）ライフデザイン研究所研究開発部副主任研究員 平井岳哉

同 社会保障費調査研究委員会（第7回）

報告内容と報告者「OECDの社会支出統計について」東京国際大学教授 三上英美子

2.22 平成6年度研究評価委員会

2.24 研究課題Ⅱ 社会福祉における市民参加（第8回）

報告内容と報告者「ボランティア社会の構造（予備的検討）」社会保障研究所研究員 高野和良，「政府と非営利団体：委託契約による政策実施」社会保障研究所研究員 武智秀之

2.28 社会保障費調査研究委員会（第8回）

報告内容と報告者「地方自治体の社会福祉支出

——北海道の試算」北海道生活福祉部高齢化・地域福祉対策室地域福祉課主査 池田俊博

3.14 研究課題Ⅲ 企業内福祉と社会保障（第11回）

報告内容と報告者「企業内福祉と課税の中立性」早稲田大学教授 馬場義久

同 研究課題Ⅱ 社会福祉における市民参加（第9回）

報告内容と報告者「社会福祉における市民参加——総括的議論のために——」東京都立大学教授 小林良二

同 定例役員会（第311回）

3.16 研究課題Ⅰ 医療サービスの变化と医療費変動の要因分析（第10回）

報告内容と報告者「医療費の地域差とその要因」東京大学教授 郡司篤晃，「最終まとめ」社会保障研究所調査部長 高木安雄

おわびと訂正

季刊 Vol. 30 No. 4 資料 社会保障費国際比較基礎データ p. 457 表6のイギリス部分の数値が誤っておりました。おわびして訂正いたします。

〈訂正〉表6 諸外国の社会保障給付費の部門別対国民所得比率の推移

（単位：％）

	1977	1980	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
イギリス／給付費総額	19.9	22.4	25.2	25.1	25.0	24.9	23.3	22.0	21.2	21.9
医療	5.4	6.3	6.2	6.1	5.9	5.9	5.9	5.9	5.7	6.3
年金	7.0	9.3	10.2	10.0	9.9	10.0	9.4	8.8	8.6	9.0
その他	7.5	6.9	8.9	9.0	9.2	9.0	8.0	7.3	6.9	6.6